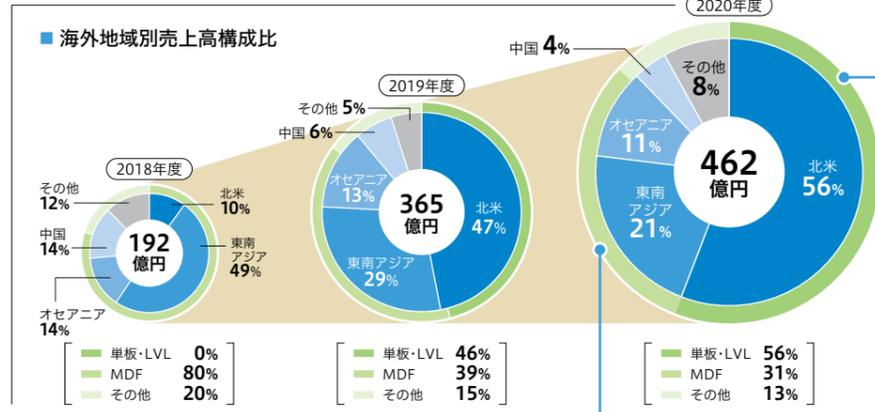


注力市場への取り組み 海外市場

素材事業では、マレーシア、ニュージーランドで生産するMDFの東南アジア、オセアニア、北米、中国などへの販売に加え、カナダ、米国で生産する単板、LVLを中心とした北米木質素材により、拡大を図っています。また建材事業では、巨大な市場規模の中国、住宅需要拡大が見込まれるインドネシアで内装ドアを中心に展開しています。



MDFによる展開

マレーシア、ニュージーランドの2カ国4工場体制で木材の端材を有効活用したMDFの生産を手掛けています。樹種や製造ラインの特長を活かし連携を図ることで、新たな価値を付与した製品の展開と海外市場でのさらなる販路拡大を推進していきます。

マレーシア	ニュージーランド
<p>樹種: 広葉樹</p> <p>マレーシア国内の合板・製材工場などから排出される端材を有効活用した褐色のMDF。優れた耐水性、寸法安定性が求められる床材の基材などに使用されています。</p> <p>特長</p> <p>DSK社は高付加価値の特殊MDFを生み出すなどMDFのマザー工場。2005年のM&AでDMR社と2工場体制に。2002年から手掛ける植林木アカシア100%MDFも開発し、新たな用途展開も進めています。</p>	<p>樹種: 針葉樹</p> <p>ニュージーランドの植林木ラジアタパインを使用した白色のMDF。軽さや滑らかな表面性などが求められる家具や建材の基材などに使用されています。</p> <p>特長</p> <p>「Customwood」ブランドでグローバルに認知されるMDF。超軽量MDFなど顧客ニーズに対応した製品開発に加え、DNZ社、DSL社のそれぞれの製造ラインの特性を活かし生產品目を最適化を図っています。</p>



北米木質素材による展開

2019年6月のカナダ単板工場CIPA社および米国LVL工場PWT社のグループ化により、世界最大の木造住宅市場である米国市場への本格展開を開始しています。米国の木造住宅の構造材として欠かせないLVLの製造・販売網をベースに、日本で培った大建工業グループの技術力も活かし、より付加価値の高い製品への展開を進めることで、さらなる拡大を図っていきます。

※I-Joist(I-型ジョイスト): OSB(Oriented Strand Board: 原木から切削された長方形の薄い木片を表面層とコア層で繊維方向に直交するように重ねて高温圧縮した構造用木質ボード)とLVLや製材の複合による構造材。



2020年度の実績

2020年度の海外市場の売上高は、462億54百万円(前期比26.7%増)となりました。素材事業では、前期の第2四半期より連結損益に取り込んだCIPA社及びPWT社の業績を、当期は期首から取り込んだことによる増加に加え、第2四半期以降、両社が手掛ける米国でのLVLの販売が好調に推移したこと等により、90億73百万円の増収となりました。建材事業では、中国、インドネシアでのドア等の販売が伸び悩み、86百万円の減収となりました。また、その他のセグメントで、販路開拓のために手掛けている各種素材の仕入販売の引き合いが増加したことにより、7億50百万円の増収となりました。

